


 S704受信装置(上)と
S740受信ユニット(下)

日東電工株式会社様でQCAST設置

このたび、当社の緊急地震速報受信システムQCASTが、日東電工様に採用されました。同社は光学フィルム、医療品など幅広い業界に製品を供給する企業で、全国に営業拠点を展開されています。

本システムは、従業員に対し地震の発生をいち早く知らせることにより、素早く退避行動に移し、従業員の身の安全を確保することを目的としています。日東電工様では、S704受信装置を再配信装置としてデータセンターに設置し、S740受信ユニットを子機端末として東京と大阪の事務所に導入いただきました。今後の整備として、全国の営業所およびグループ会社への導入を計画していただいております。国内で頻発する地震に備え、従業員の安全確保を目的とした緊急地震速報の導入は、今後ますます進んでいくものと考えられます。

明星電気の防災製品が企業のBCP対策に貢献しています。

(担当:関西支店)



「未来世紀ジパング」取材風景



ドロップゾンデ(左)とIMS-100(右)

テレビ各局でラジオゾンデ紹介

テレビ東京「日経スペシャル 未来世紀ジパング ～沸騰現場の経済学～ 異常気象と闘う第3弾」からラジオゾンデIMS-100について取材を受け、その様子が9月4日に放送されました。番組のなかで日本唯一のラジオゾンデメーカーとして当社が紹介され、ゾンデが正確な天気予報に欠かせない機器であり、世界一軽量であるIMS-100がインドネシアの干ばつ被害の対策に重要な役割を果たしていると紹介されました。

また9月9日、NHK「NHKスペシャル シリーズ MEGA CRISIS 巨大危機Ⅱ ～脅威と闘う者たち～ “第2集 異常気象・スーパー台風 予測不能の恐怖”」にて、巨大化する台風の予測に向けた新たな挑戦のひとつとして当社のドロップゾンデがとりあげられました。

さらに9月16日、毎日放送制作・TBS系列放送の「サタデープラス」でも、台風に関するニュースのなかで当社のドロップゾンデがとりあげられました。

明星電気は日本で唯一のラジオゾンデメーカーとして、今後も高層気象観測の現場のさまざまなニーズにこたえる製品を開発していきます。

(担当:気象防災事業部、経営企画室)



展示ブース全景

米国「Small Satellite Conference 2017」に出展

8月7日から10日までの4日間、米国のユタ州立大学で開催された「Small Satellite Conference 2017 (SSC)」に展示出展しました。

SSCは小型衛星に関する世界最大の学会併催展示会であり、世界中の主要なメーカーや大学・研究者が一堂に会する最も影響力のあるイベントです。当社はIHIエアロスペースと共同でブース展示を行いました。Xバンド高速送信機、GPS受信機、CubeSatおよびMicrosat用のオンボードコンピュータ(OBC)の4点を展示・紹介し、ブースを訪れた世界各国の関係者から注目を集めました。2012年から出展を続けており、国際的な衛星コンポーネントメーカーとしての企業ブランドと主力製品の知名度の向上を図ってきました。

明星電気は今後も海外の小型衛星市場において、競争力のある製品を提供することで宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。